※令和４年度以降入学生用

学校番号	1017

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	簿記	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校簿記」　（実教出版）						
副教材等	日商簿記ゼミ３級　問題演習（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では主にプリントを使用して、例題を書き写してから各自で問題を解くというシステムです。配布するプリントは考査や検定の勉強に役立ちますので、毎回ファイルに綴じていきましょう。この科目は積み重ねが非常に大事です。日々の授業をしっかり聞き、課題が出された際には必ず家庭などで学習をし、必ず提出しましょう。

２　学習の到達目標

・簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。
・企業の経理・会計・営業・管理など、多種多様なビジネスシーンで簿記とビジネスが関連していることを認識させるとともに、これからの経済社会に適切に対応し、判断できる力を養う。
・生徒が将来の就労時に、適正な会計知識を持って企業等で会計処理を実践できるよう、簿記の学びを通してさまざまな視点で考える態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・個人企業における簿記に関する基礎的･基本的な仕組みについて理解している。 ・個人企業における簿記に関する基礎的･基本的な技術を身につけ、いろいろな場面において適正な会計処理を行う。	いろいろな処理法や記帳法について、なぜそのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	個人企業における簿記に関心をもち、その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組むとともに、企業において日常発生する取引について適正な会計処理を行う実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	簿記の基礎	・簿記の概要 ・資産・負債・純資産と貸借対照表 ・収益・費用と損益計算書 ・簿記一巡の手続き	a:簿記の意味・目的などの簿記の基礎的内容や資産・負債・純資産・収益・費用の意味および損益計算書・貸借対照表の作成、さらに簿記一巡の手続きに関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。 b:なぜ簿記をつけるのか、なぜ勘定を設けるかなどについて考えている。 c:仕訳帳および総勘定元帳の記入や損益計算書・貸借対照表などの作成に関する基礎的基本的な技術を身につけている。	定期考査	・学習状況の観察 ・プリント提出	・学習状況の観察 ・プリント提出

※令和４年度以降入学生用

1・2	取引の処理	・現金・預金 ・商品売買 ・債権・債務 ・固定資産 ・個人企業の純資産と税 ・販売費及び一般管理費	a：商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳は、どのように行うのかについて関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。 b：なぜこのように仕訳するのか、なぜ補助簿はこのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて考えている。 c：商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳、総勘定元帳への転記、各種補助簿の記入など、取引の貴重に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	定期考査	・学習状況の観察 ・プリント提出	・学習状況の観察 ・プリント提出
2	決算	・決算整理 ・財務諸表の作成	a：決算整理を伴う決算手続きは、どのように行うのかについて関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。 b：なぜ決算整理を行うのか、なぜこのように整理仕訳を行うのかなどについて考えている。 c：決算整理を伴う決算を行うための基礎的・基本的な技術を身につけている。	定期考査	・学習状況の観察 ・プリント提出	・学習状況の観察 ・プリント提出

※令和４年度以降入学生用

2	伝票会計	・伝票の起票 ・仕訳日計表の作成	a：３伝票制について関心をもち、入金伝票・出金伝票・振替伝票の起票・集計の仕方を意欲的に身につけようとしている。 b：３伝票制による取引の記帳や集計と転記についての思考を深め、伝票を用いる利点や起票の仕方を適切に表現することができる。 c：入金伝票・出金伝票・振替伝票の起票の仕方を理解し、説明することができる。	定期考査	・学習状況の観察 ・プリント提出	・学習状況の観察 ・プリント提出
2・3	過去問題を解く	・検定過去問題を解く	a：日商簿記検定３級の範囲において、検定取得をめざして繰り返し問題演習に取り組んでいる。 b：検定過去問題を解いて過去の傾向を把握しているか。 c：日商簿記検定３級の問題を解き、合格点である７０点以上を常に取れている状態である。	定期考査	・学習状況の観察 ・プリント提出	・学習状況の観察 ・プリント提出

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度